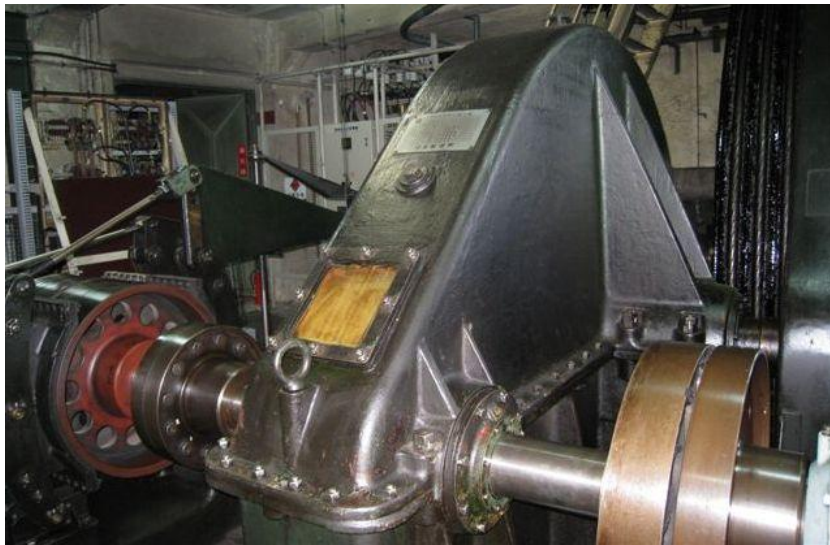


2011年  
安全報告書



大山観光電鉄株式会社

## 目 次

§ 1. ご利用くださいますお客様へ	1
§ 2. 安全基本方針と安全に係る行動規範	2
§ 3. 安全目標	2
§ 4. 安全重点施策	2
§ 5. 安全管理体制	3
§ 6. 事故等の状況と再発防止措置	
1. 鉄道運転事故等	4
2. 災害（地震や暴風雨、豪雪など）	4
3. 輸送障害（30分以上の遅延や運休）	4
4. インシデント（事故の兆候）	4
§ 7. 行政指導等に対する措置の状況	4
§ 8. 安全確保のための措置	
1. 異常時総合訓練	5
2. 教育訓練状況	5
3. 設備投資状況	6
§ 9. ご利用くださいますお客様とのコミュニケーション	6
§ 10. ご連絡先	6

## § 1. ご利用くださいますお客様へ

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、安全輸送に対する取組みや実態について、事業実績を振り返るとともに、ご利用くださいますお客様へ、広くご理解いただくために作成するものです。

当社は、小田急グループの一員として、グループ経営理念「お客様の『かけがえのない時間』と『ゆたかな暮らし』の実現に貢献します」に基づき関係法令を遵守し、輸送の安全を第一として良質なサービス提供に邁進しております。



更に加えて、企業活動を通じて社会に貢献するとともに、社会から信頼されることを顧客第一主義に通じると考え、企業の果たす社会的責任を念頭に、倫理法令遵守の考え方を基に、「報告・連絡・相談」の徹底を図り迅速な対応をとっております。

当社線は、台風などの自然災害を受けやすい立地から、落石、土砂流入などを防止するため、設備増強と教育・訓練を重ねて災害発生時に迅速、確実に対応できるよう取り組んでおります。

お客様からの声をより一層の「輸送の安全」に役立てたく、ご意見、ご助言などを賜りますようお願い申し上げます。

大山観光電鉄株式会社  
取締役社長 堀 康紀

## § 2. 安全基本方針と安全に係る行動規範

当社の安全基本方針は、以下のとおりでございます。

1. 輸送の使命は安全輸送であるとの認識に立ち、全ての事業に最優先する。
2. 施設・車両等の整備は、万端怠りなく実施し、安全の確保に努める。

当社の安全にかかわる行動規範は、以下のとおりでございます。

1. 輸送の安全に関する状況については、常に把握し理解するよう努める。
2. 情報は透明性を確保し、漏れなく迅速、正確に伝える。
3. 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

## § 3. 安全目標

“列車運転事故ゼロ”を永遠のテーマとしております。

## § 4. 安全重点施策

当社では、安全目標達成のため、以下の安全重点施策を定めて取り組んでおります。

### 1. 2010年度取組みと実績

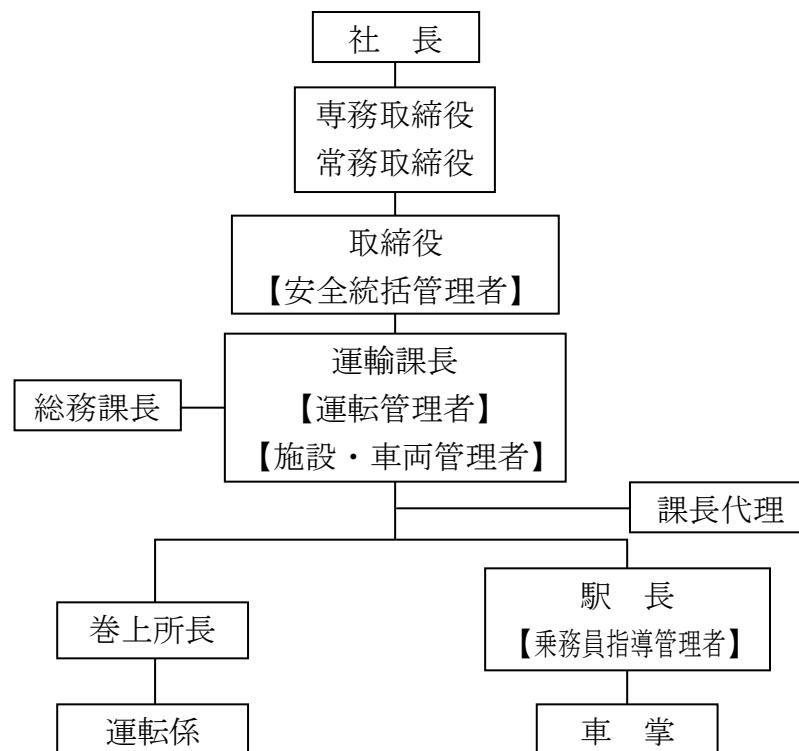
- (1) 大山ケーブル駅下石垣に関しまして、コンクリート注入とアースアンカーを打ち込み、崩壊のリスクを解消いたしました。
- (2) 大山寺駅付近の参道上に固定しておりましたワイヤーロープドラム用架台を着脱式に改良し、お客様の参道歩行の阻害とならないよう改善いたしました。
- (3) 線路沿いの高木枝おろし、ならびに倒木の除去を実施し、土砂崩壊による列車運行リスクの解消を図りました。
- (4) 雨量計を設置いたしまして、降り始めからの総雨量、ならびに一時間当たりの時雨量を計測し、土砂災害のリスク回避策として基準化ののち運用を開始いたしました。

### 2. 2011年度の取組みと計画

- (1) 昭和40年製造の車両の車体を改修し、車両構造の信頼性向上を図ります。
- (2) 巻上機ブレーキ装置のブレーキドラムを新たに交換し、一層の信頼性向上を図ります。
- (3) 沿線法面の雑木を伐採し、法面崩壊のリスク回避をいたします。

## § 5. 安全管理体制

当社は、以下の安全管理体制の下、お客様の輸送の安全を確保いたします。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負います。
安全担当取締役 【安全統括管理者】	鉄道施設、車両、運転取り扱いの安全性及び相互の部門間の整合性を確保するとともに、安全確保を最優先し輸送業務の実施及び各管理部門を統括管理いたします。
運 輸 課 長 【運 転 管 理 者】 【施設・車両管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運行計画の設定及び変更、乗務員の運用、列車の運行の管理、運転係及び乗務員の育成並びに資質の保持その他運転に関する業務を管理するほか、施設及び車両の維持管理に関する事項を統括いたします。
駅 長 【乗務員指導管理者】	運転管理者の指揮の下、駅務・車掌の資質の維持に関する事項を管理いたします。
巻 上 所 長	運転管理者の指揮の下、運転の資質、ならびに施設の維持に関する事項を管理いたします。

## 社長の現業巡視



巻上

駅

### § 6. 事故等の状況と再発防止措置

#### 1. 鉄道運転事故等

2010年度、鉄道運転事故等の発生は、1件でございました。これは、動物が電気施設内に侵入し接触したため停電に至ったものであります。

#### 2. 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

(1) 2010年度、自然災害に伴う事故等の発生はございませんでした。

(2) 2011年3月11日 14時46分、東北地方太平洋沖地震（マグニチュード9.0）発生により、一時運転を休止し線路巡回を実施しましたが、当社線の施設等への被害はございませんでした。

#### 3. 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

(1) 2011年3月11日 14時46分、東北地方太平洋沖地震（マグニチュード9.0）が発生し、余震が継続的に発生していることから、お客様の“安全な輸送”を考慮し、運転を取り止めいたしました。（運休本数12本）また、3月14日以降、電力需給の逼迫の折から、電力需要の抑制に呼応するため、現在まで運行形態を一部変更しております。

(2) 2011年8月6日 8時46分、営業運行開始前に阿夫利神社駅機械室の電気回路に動物が接触したため停電が発生し、運休列車2本、遅延列車1本（最大遅延10分）が生じました。なお、再発防止策として想定される全ての経路に侵入防止のための網戸を設置いたしました。

#### 4. インシデント（事故の兆候）

一件の発生もございませんでした。

### § 7. 行政指導等に対する措置の状況

2010年度、国土交通省からの行政指導はありませんでした。

## § 8. 安全確保のための措置

### 1. 異常時総合訓練

【走行中のケーブルカー直前での落石が発生し、緊急停止したことにより乗客に怪我人が発生した】との想定のもと、伊勢原市消防本部との合同訓練を計画、実施し、社長を始め本社員及びびにならびに各現業員が参加し、異常時の対応を体得いたしております。



負傷者救出



負傷者搬送

### 2. 教育訓練状況

- (1) 事故訓練として、【障害物発見による緊急停止】を実施したほか【非常呼び出し訓練】について昨年度に引続き実施しました。
- (2) 2007年度から、急病や怪我をされたお客様への初期対応に必要な知識・技能を学ぶことを目的として、普通救命講習を実施しています。この講習では、伊勢原消防署の協力により、人工呼吸や心臓マッサージとAEDの使用方法について講義を受け実技を学んでいます。2011年3月現在、本社、現業を含め全員が受講いたしました。



普通救急救命



安全マネージメント

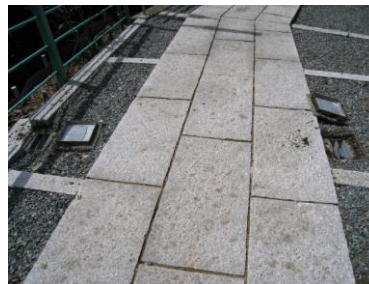


### 3. 設備投資状況

当社、鋼索鉄道施設の安全性維持管理のため、設備投資や施設・車両の修繕費として、営業収入の1割強にあたる12.8百万円を充てました。



大山ケーブル駅石積み補強



大山寺駅ドラム架台新設



沿線樹木伐採



雨量計新設

### § 9. ご利用くださいますお客様とのコミュニケーション

本報告書に関わるご意見、ご感想やご要望など、お寄せくださいませ。

連絡先	
本社	TEL：0463-95-2135 Fax:0463-95-2482 E-Mail:ooyama-cable@plum.ocn.ne.jp 平日：9：00～17：00
大山ケーブル駅	TEL：0463-95-2040 Fax:0463-95-2040 平日（土曜日含む）9：00～16：30 休祭日9：00～17：00